

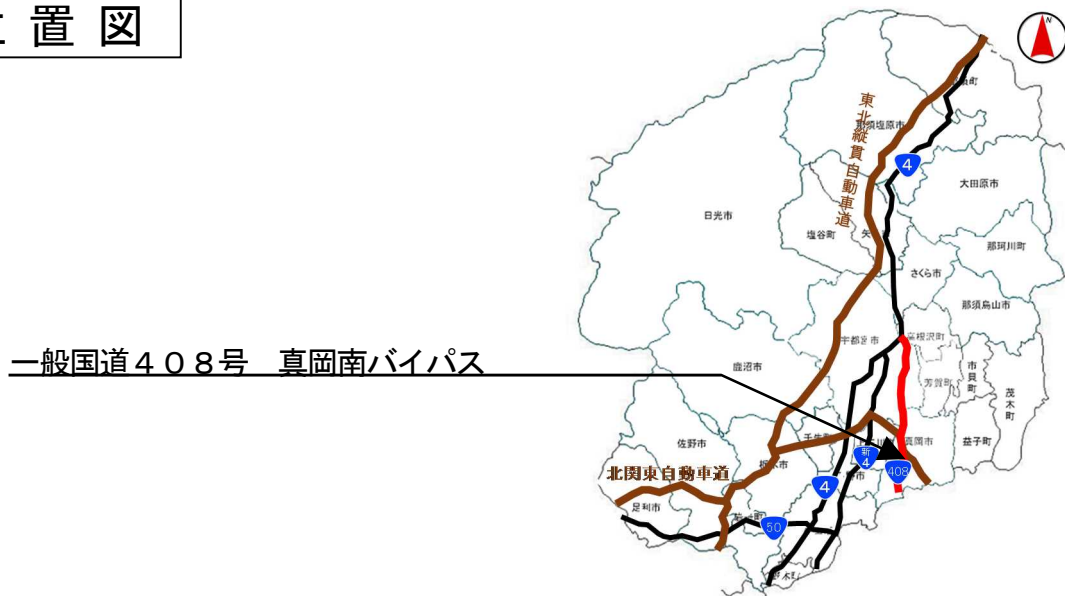
## 道路事業の再評価概要書

( ) は、前回評価時

			番 号	2
			事業主体	栃 木 県
事業名	快適で安全な道づくり事業		事業所管課	県土整備部 道路整備課
路線・河川名	一般国道 408号		事業箇所名	真岡市 真岡南バイパス
事業区間	真岡市寺内 ~ 長田		事業延長	3,100m
H26年度事業化		H27年度用地着手		H28年度工事着手
事業期間	H26年度 ~ H32年度		事業進捗状況	基準年次：【平成30年度末時点】
[うち用地補償費]	[32.6 (25.0) 億円]			進捗率
全体事業費	87.0 (58.0) 億円			[うち用地補償費] [32.6 億円] [100%] 既投資事業費 47.0 億円 54%
事業概要				
<p>一般国道408号真岡南バイパスは、「新とちぎ元気プラン」においてスカイコリドールに位置付けられており、真岡宇都宮バイパス、宇都宮高根沢バイパス等とともに常磐自動車道谷和原ICと東北自動車道矢板ICを結ぶ延長約100kmの地域高規格道路「常総・宇都宮東部連絡道路」の一部を構成する広域幹線道路である。</p> <p>また、現道の沿線には、清原工業団地をはじめとする工業団地群が集積することから、大型車交通量も多く、本県の産業活動を支える重要な路線である。</p> <p>しかし、現道は、各所において渋滞が発生しており、また交通事故も多発している状況である。</p> <p>このため、広域的な道路ネットワークを構築し、交通の円滑化を図るため、4車線のバイパス整備を行うものであるが、事業効果の早期発現のため暫定2車線による整備を行い、平成33年春に完成予定である。なお、盛土形式区間における地盤改良等を追加実施する。</p>				
事業を巡る社会経済情勢の急激な変化、技術革新、事業計画の大幅な変更等				
・盛土形式区間における地盤改良等を追加実施する計画変更				
事業の投資効果				
1 費用対効果分析結果		【総便益 (B)】	【総費用 (C)】	
(1) 事業全体 B/C = 2.2		194 億円	90 億円	
(2) 残事業 B/C = 4.7		194 億円	42 億円	
2 事業の整備効果等				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・渋滞緩和による交通の円滑化</li> <li>・現道交通のバイパスへの転換による交通事故の減少</li> <li>・鬼怒川左岸地域の産業支援</li> </ul>				
事業の進捗状況等				
1 事業の進捗状況				
・平成30年度に用地取得完了、盛土形式区間の地盤改良工事及び横断ボックスカルバート設置完了予定				
2 今後の事業進捗の見込み				
・平成32年度に開通予定 (暫定2車線)				
コスト縮減等				
1 コスト縮減方策				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・盛土形式区間における盛土材について、建設発生土を流用し、コストを縮減</li> <li>・再生骨材、再生アスファルト合材を活用し、コストを縮減</li> </ul>				
2 代替案立案等の可能性				
・既に大部分の用地を取得済みであることから、代替案立案は困難				
事業の対応方針 (案)		今回計画案で事業を継続する。		

# 事業箇所（位置図・概要図）

## 位置図

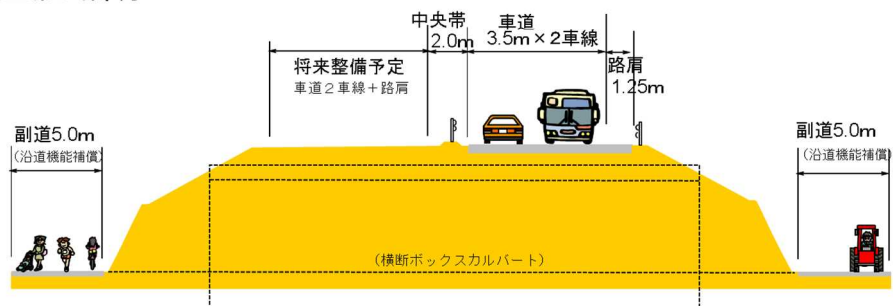


## 標準横断図

地表形式部分



盛土形式部分



## 概要図

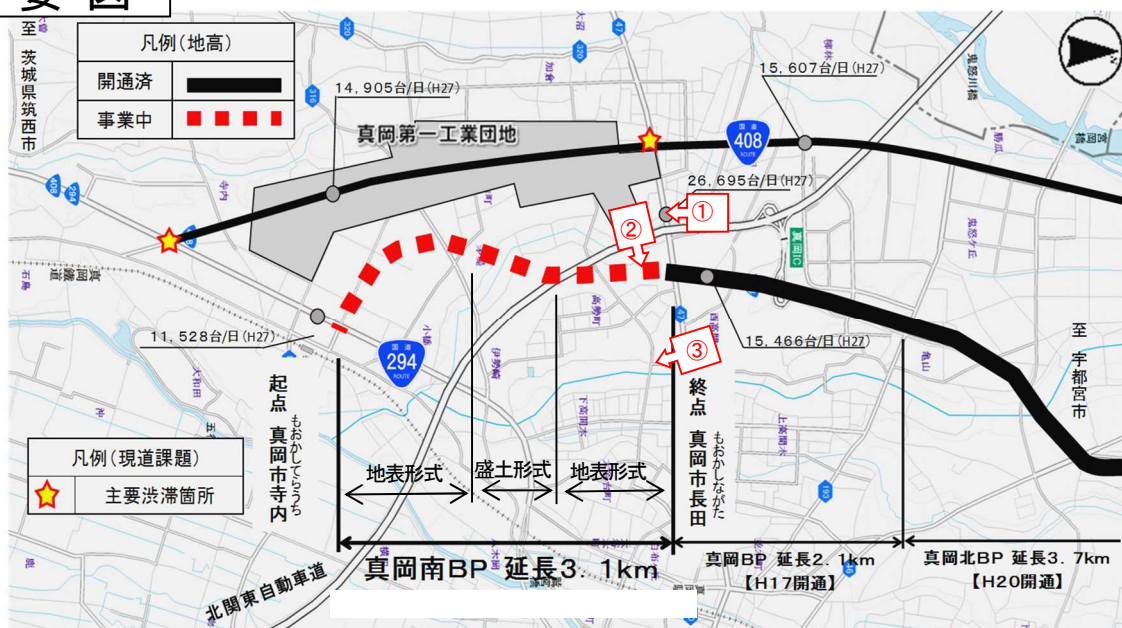




写真 1 : 現道の状況 (長田交差点 : 北進)



写真 2 : 現道の状況 (長田交差点 : 西進)



写真 3 : 周辺道路の状況 (高勢町交差点付近)